

東日本大震災による被害への支援対応について

このたびの東日本大震災により被害を受けられた皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。琉球銀行では、被災者支援と災害復興支援の一環として、以下の取り組みを実施しております。被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

◆預金払戻し等のお取り扱い

- ・ 預金証書、通帳、キャッシュカード、届出の印鑑を紛失された場合は、ご本人であることを確認のうえ、お支払いいたします。
- ・ 定期預金などの期限前の払い戻しについても、ご相談を承ります。
- ・ 震災の影響で支払期日が経過した手形については、取立ができるよう関係金融機関と調整いたします。
- ・ 窓口にて、被災により汚れた紙幣のお引き換えをいたします。
- ・ 国債を紛失された場合は、窓口までご相談ください。

◆ご融資等への円滑な対応

震災により直接的、または間接的*に事業に影響を受ける恐れがあるお客さまにつきましては、お客さまの実情を踏まえながら、適切な資金供給やご返済の猶予等に努めさせていただきますので、下記の窓口までご遠慮なくご相談ください。

※《間接的な影響の例》

- ・ 得意先や仕入先が被災している
- ・ 被災地に生産・販売拠点等がある
- ・ 観光客の減少により売上の減少が見込まれる 等

《ご相談窓口》

相談窓口	平日	土・日	祝日・大晦日
全営業店 ※出張所、東京支店除く	9:00～16:00	休業	休業
ローンサポートセンター (ダイヤル)0120-63-1189	9:00～17:00	10:00～17:00	休業

◆東北地方在の地方銀行等預金者への預金払戻し対応

被災により沖縄県へ避難されている方で、東北地方在の地方銀行等とお取引をされているお客さまにつきましては、お取引されている東北地方在の地方銀行等と個別に調整のうえ、預金の払戻しについて対応しておりますので、窓口までご相談ください。

◆営業店窓口への募金箱設置

2011年3月17日より、琉球銀行の全営業店71店舗(出張所を含む)に募金箱を設置し、義援金を受け付けております。



◆定期預金を活用した東日本大震災復興支援(義援金)

2011年5月10日から9月30日までの期間、対象となる定期預金の新規預入総額0.1%相当額(最大2,000万円)を当行負担で義援金として日本赤十字社へ贈呈いたします。この取り組みにより、6月から毎月義援金を贈呈することで、継続的な支援に取り組んでまいります。

◆義援金贈呈①

琉球銀行およびりゅうぎんユイマール助成会は、3月14日、義援金500万円を日本赤十字社沖縄県支部へ贈呈いたしました。(関連記事11面に)

◆義援金贈呈②

琉球銀行および琉球銀行労働組合は、2011年3月23日、街頭募金活動により集まった募金約100万円を義援金として日本赤十字社沖縄県支部へ贈呈いたしました。

◆救援物資の提供

琉球銀行および関係会社各社は、総額500万円相当の救援物資を被災地に提供いたしました。

- 物資提供地域：東北地方3県(福島県、宮城県、岩手県)
- 物資提供時期：3月下旬から4月上旬にかけて、3回にわたり提供。
- 救援物資：県産品を中心に飲料、食料など
- 提供各社：(株)琉球銀行、(株)琉球リース、(株)リウコム、(株)りゅうぎんティーシー、りゅうぎん保証(株)、(株)人材派遣センターオキナワの6社

◆被災地支援チャリティーコンサートに募金ボランティアとして参加

2011年4月10日に宜野湾市コンベンションエリアを中心として開催された東北関東大震災支援チャリティーコンサート「what a wonderful world～がんばれ東北!がんばれ日本!～in OKINAWA」に、当行役職員ならびにその家族・友人総勢約250名が募金ボランティアとして参加し、来場者に募金を呼びかけました。コンサートには県内外の多くのアーティストが無償で参加し、集まった募金の全額が、主催者側より被災地へ義援金として贈呈されました。



救援物資出発式

救援物資に応援メッセージを添えて送りました



「美優ちゃんを救う会」へ募金を贈呈

りゅうぎんユイマール助成会
および琉球銀行は、2010年12月、拘束型心筋症と診断され、米国での心臓移植を望む県内の中学生、要美優さんを支援している「美優ちゃんを救う会」へ募金を贈呈しました。

この募金は、要美優さんの心臓移植手術費用などに活用されます。



美優ちゃんを救う会へ募金を贈呈

東日本大震災被災者へ義援金を贈呈

りゅうぎんユイマール助成会
および琉球銀行は、2011年3月、多大な被害を受けた東日本大震災被災者の救援と被災地の一日も早い復興を支援するため、日本赤十字社沖縄県支部へ義援金を贈呈しました。



東日本大震災被災者へ義援金を贈呈

りゅうぎんユイマール助成会では、国内外で大規模な自然災害が発生した際には迅速に被災者を支援し、「ユイマール」の心を実践していきます。

2団体へ募金を贈呈

りゅうぎんユイマール助成会および琉球銀行は、2010年12月、沖縄県共同募金会の「赤い羽根共同募金」「歳末たすけあい運動」、ならびに沖縄県結核予防婦人連絡協議会の結核予防複十字シール募金に募金を贈呈しました。

りゅうぎんユイマール助成会は、今後とも地域の社会福祉活動などを積極的に支援し、地域社会の発展に寄与してまいります。



参考 りゅうぎんユイマール助成会

「りゅうぎんユイマール助成会」は、1993年（平成5年）6月に当行の創立45周年を記念して、設立した基金です。毎年、役員に寄付金を募り、さらに同額を銀行が寄付することで基金を造成します。

例えば、役員から200万円が集まった場合、銀行も200万円を拠出し、合計400万円を助成会の活動原資とする仕組みです。

りゅうぎんユイマール助成会では、地域の福祉活動や環境保全活動を継続的に支援しており、設立から2011年5月までの助成実績は、301件の1億3696万円となりました。

公益信託「宇流麻福祉基金」8団体に297万円を助成



宇流麻福祉基金助成金授与式

琉球銀行は、2011年4月、第16回公益信託「宇流麻福祉基金」の助成先8団体に助成金を授与しました。

知的障がい・精神障がいの区別なく相談支援活動を行っている団体、発達障がい児とその親を支援する団体、重症心身障がい児の在宅介護を支援する団体など8団体に総額297万円を助成しました。

同基金は、源河朝明氏が故郷沖縄の福祉に役立てるため設立したもので、沖縄県内において社会福祉に関わる活動を展開している法人および団体を助成し、地域社会の福祉の増進に寄与することを目的としており、琉球銀行はその運営に事務局として携わっています。



参考 公益信託

琉球銀行は、社会福祉活動にかかわる法人および団体を助成する「宇流麻福祉基金」「源河朝明記念那覇市社会福祉基金」の運営に事務局として携わっています。

「宇流麻福祉基金」は、源河朝明氏より委託を受けた公益信託として1996年12月に設立され、沖縄県で社会福祉活動をしている法人および団体に対する助成を目的としています。

「源河朝明記念那覇市社会福祉基金」は、1998年11月に設立され、那覇市を中心に県内の社会福祉にかかわる活動をしている法人および団体に対する助成を目的としています。